

調べ方ガイド 「学校週五日制を廃止するべき？」

By.岡山芳泉高校図書館

※ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。出典明記もお忘れなく！

関係する官公庁

文部科学省 (<http://www.mext.go.jp/>)

教育に関する基本的な法律・計画や学習指導要領、「文部科学白書」や「PISA (OECD 生徒の学習到達度調査)」、「図表でみる教育 (Education at a Glance) OECD インディケータ」など、様々な資料を調べられる。

最初に読みたい基礎資料

・「学校週 5 日制について」、「学校週 5 日制の実施の経緯」、「諸外国における学校週 5 日制の実施状況」(文科省 '05 年)
→ファイリング資料有

【関連の最新情報を知る】

・『現代用語の基礎知識』自由国民社[031]、『朝日キーワード』朝日新聞出版[813.7]

参考になるデータ

『日本子ども資料年鑑』KTC 中央出版 [他館資料]

「発育・発達、保健・医療、栄養・食生活、教育、行動問題、生活環境など、子どもに関するさまざまなデータを掲載する年鑑。」
過去には学校週 5 日制に関する調査データも有り。

「学習指導基本調査」ベネッセ教育開発センター (1997 年～) →ファイリング資料有

小中学校・高校の取り組みや、教員の学習指導の実態、意識など、教員の立場から学校現場の変化を捉えられる資料。年間授業日数・時間数、土曜日や長期休業中の指導など、様々な項目あり。量が多いためファイリングは一部だが、完全版は Web サイトで見ることができる。

※調査・研究データ (ベネッセ教育研究開発センター) <http://benesse.jp/berd/data/index.shtml>

「学校教育改革についての保護者の意識調査報告書」社団法人日本 PTA 全国協議会 (2002 年～) →ファイリング資料有

現在の教育課題について、保護者の意識・意向を調査。PTA の取り組み内容や、放課後・土日に望む子供の活動など。
量が多いためファイリングは一部だが、完全版は Web サイトで見ることができる。

※資料 DATA (社団法人日本 PTA 全国協議会) <http://www.nippon-pta.or.jp/material/index.html>

「教育史年表 (全国) (平成元年から)」 ※岡山県 Web サイトより

図書ピックアップ (これはほんの一部。他にもたくさん関連する本があります。NDC「37*」は要チェック！)

・小川真理子・藤田千枝 (2004) 『くらべてわかる世界地図(2)学校の世界地図』大月書店。[他館資料]

※世界各国で異なる学校の休日 (28-29p)。最新・国別の詳細情報は「キッズ外務省」の Web サイトで見ることができる。

・窪田真二・学校教育課題研究会 (2013) 『図表でわかる最新の教育課題 50』学陽書房。[374]

・教育開発研究所 (2011) 『教育の最新事情がよくわかる本 2』教育開発研究所。[372.1]

・安彦忠彦 (2011) 『公立学校はどう変わるのか』教育出版。[他館資料]

・久富善之ほか (2010) 『図説 教育の論点』旬報社。[372.1]

・二宮皓 (2006) 『世界の学校 教育制度から日常の学校風景まで』学事出版。[他館資料]

※「時間」文化の比較として、学校週 5 日制・6 日制に関する記述と、それぞれの地域別国名一覧あり (22-23p)。

・経済協力開発機構・OECD『図表でみる教育 OECD インディケータ』明石書店。[他館資料]

※「OECD 加盟各国の教育を取り巻く状況を国際的に比較・評価するデータ集」。授業時間などのデータあり。

【論点を知る】

- ・『日本の論点』文藝春秋. [304] ※教育関係は毎年取り上げられる
- ・山内乾史ほか（2006）『リーディングス日本の教育と社会 第1巻 学力問題・ゆとり教育』日本図書センター. [他館資料]
※学力問題・ゆとり教育に関する様々な論文と文献情報を集めている。視野を広げたい時や、論点について深めたい時にオススメ。
- ・中井浩一（2003）『論争・学力崩壊〈2003〉』中央公論新社. [B372]
- ・市川伸一（2002）『学力低下論争』筑摩書房. [B373.1]

資料のお問い合わせは図書館まで♪

ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。レポートへの出典明記もお忘れなく！